

高品質なベアリングと 自動車用駆動部品を安定供給

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- メイトインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



高品質・安定供給を支える製造現場

業務内容
あらゆる製造現場で高度なものづくりを支える

産業用・自動車用ベアリング(軸受)の製造・販売が主な事業。創業以来70年にわたり培ってきた技術で、マイクロメートル単位(100万分の1m)の精度が要求される製品を安定供給している。また、ベアリングの製造技術を応用して自動車用駆動部品も量産。現在の売り上げはベアリングが50%強、駆動部品が40%で構成されており、近年は駆動部品の売り上げ比率が伸びている。

ベアリングは“産業の米”と呼ばれ、ものづくりには欠かせない存在。同社の製品は自動車部品メーカーや産業機械メーカー、農・建機メーカーなど幅広い製造現場で高度なものづくりを支えている。

強み
独自の冷間ロール工法で材料歩留まりを向上

ベアリング製造での旋削せんせきに関する工法において、冷間ロール加工で仕上げる技術に強みを持つ。この技術は材料歩留まりを従来工法に比べ20%~30%程度向上し、サイクルタイムを短縮。昭和60年に機械メーカーと連携して開発した独自技術で、国内では同社がそのパイオニアという。また、ベアリング製造で積み重ねたこれらの独自技術を生かし、平成18年より自動車用CVJ(等速ジョイント)向けのローラーの製造を開始。マイクロメートル単位の精度で月に40万個以上を安定供給できることが評価され、年々売り上げが増加している。今ではベアリングとならぶ同社の2本目の柱に成長している。

人材育成
ステップアップで高めたスキルが製造現場を支える

入社後の業務はまず測定に携わる。同社は高精度でものづくりを行っており、基本ス

キルとして正確な寸法測定が不可欠。この技術を習得してはじめて機械の運転、砥石といしの交換、段取り替えなど次のステップに進んでいく。

このように段階的に身に付けた確かな技術力が、製品の基本寸法の公差10μm以下、真円度1μm以下、ボールと接触する軌道面の表面粗さ0.1μmという高度なものづくりを支える。月にボールベアリング50万個、自動車用駆動部品50万個、冷間ロール加工品100万個の生産を可能にしている。

今後の展望
作業者の技術を高め生産効率のさらなる向上を目指す

顧客が求める製品を安定した品質で供給する一方、多品種小ロットにも素早く対応できるように生産体制を強化していく。また、近年の人手不足の課題解決を図り、作業者の技術力向上にも力を注ぐ。多能工化と管理能力の向上に取り組み、ことで業務を効率化し、生産能力を高める仕組みをつくる考えだ。在庫販売の拡充と環境に配慮した生産活動にも磨きをかける。

ここ最近ではベアリングの特殊品に対する海外からの引き合いが増えており、これにきめ細かく対応していく方針を掲げる。特に米国における「泉本精工」の「IKS」ブランドの知名度向上にも力を入れる。



ベアリングは独自技術で効率的に製造



自動車用駆動部品の売り上げが伸長

当社の歴史



昭和23年4月に創業し、「IKS」ブランドの小型ベアリングの製造・販売を始めました。その後、昭和29年4月に法人組織に変更。昭和60年には冷間ロール旋削品の生産を開始、平成18年には自動車用駆動部品の本格生産にも着手しました。平成26年に会社設立60周年を迎えました。

いずもと
代表取締役社長 **泉本 信彦**さん

<http://www.iks-jp.com/>

主な事業内容

ボールベアリングおよび自動車用駆動部品の製造・販売

主な取引先(納入先)

自動車メーカー、自動車部品メーカー、機械系商社、農建機メーカー

- 住 所 〒580-0013 松原市 丹南1-343
- TEL 072-332-1620
- FAX 072-336-0236
- 創 業 昭和23年4月
- 設 立 昭和29年4月
- 資本金 4,020万円
- 従業員 103名